



八木山 動物公園

YAGIYAMA ZOOLOGICAL PARK

フジサキの杜

NEWS

2026 **SPRING** Vol.54



特集

仙台市八木山動物公園施設長寿命化再整備計画
エリアⅠ施設再整備工事進行中！～総合獣舎新築工事の進捗状況～

TOPICS!

教えて！飼育員さん！
イベント情報

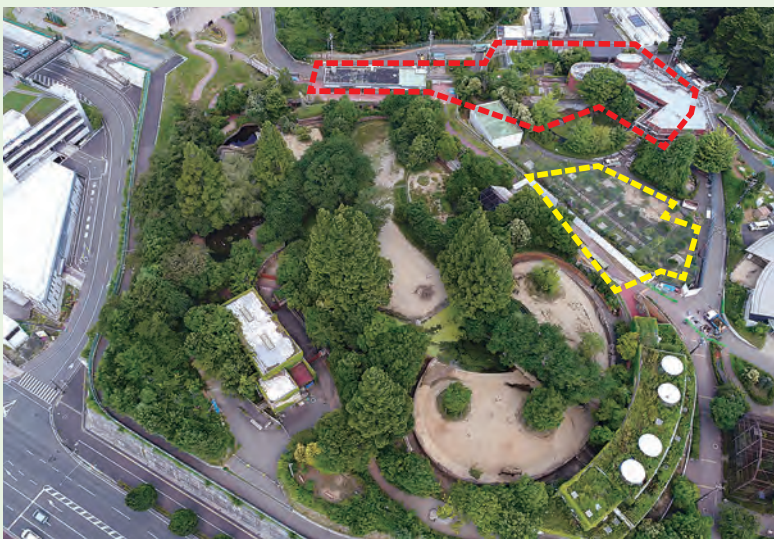
エリア I 施設

再整備工事進行中!

【エリア I 展示コンセプト】 ～絶滅危惧～

現在、園内に分散しているアフリカ地域の動物をエリア内に集約。既存アフリカ園を活かした新アフリカ園としてリニューアルし、大型希少動物を中心とした展示エリアを整備。アフリカの自然の中で野生動物を観察しているような展示環境を演出します。

アフリカに生息する動物種の多くは絶滅の危機に瀕していることから、展示を通して希少動物に興味を持ってもらうとともに希少種の生態や現状、保全について理解してもらうことを目指します。



展示動物

- 哺乳類：カバ
クロサイ
グラントシマウマ
ワオキツネザル
クロシロエリマキツネザル
チンパンジー
アビシニアコブス
ライオン
アミメキリン
アフリカゾウ

- は虫類：マダガスカルホシガメ
ケツメリクガメ
バンケーキリクガメ

- 鳥類：ダチョウ

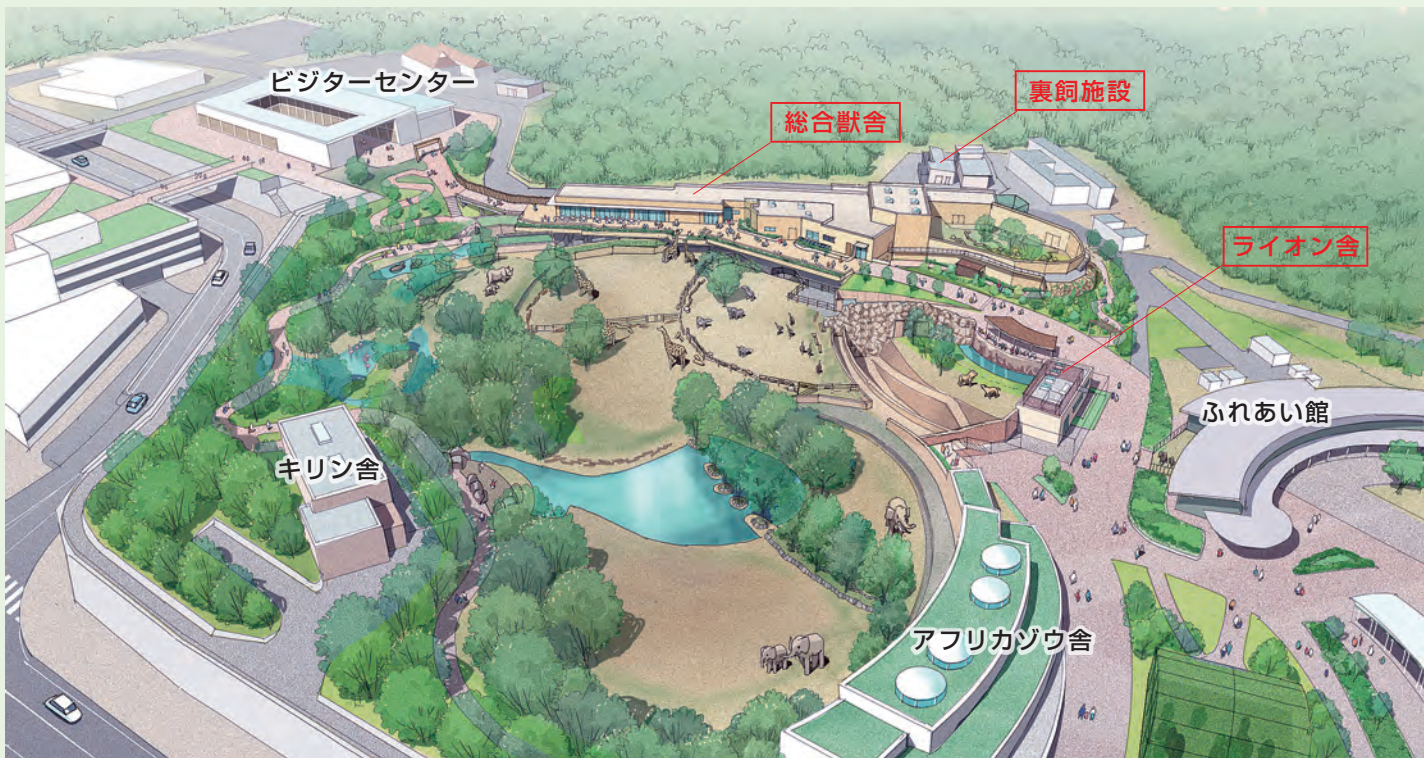
整備スケジュール

施設名称	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
裏飼施設	新築	実施設計	工事				
既存施設 (は虫類館池5棟)	解体		実施設計	工事			
総合獣舎	新築	実施設計		工事			
ライオン舎	新築				実施設計	工事	

エリア I 施設 整備範囲 令和7年7月撮影

写真上部の赤色点線の範囲が総合獣舎、写真右部の黄色点線の範囲がライオン舎の建設予定地

エリア I 整備イメージ図

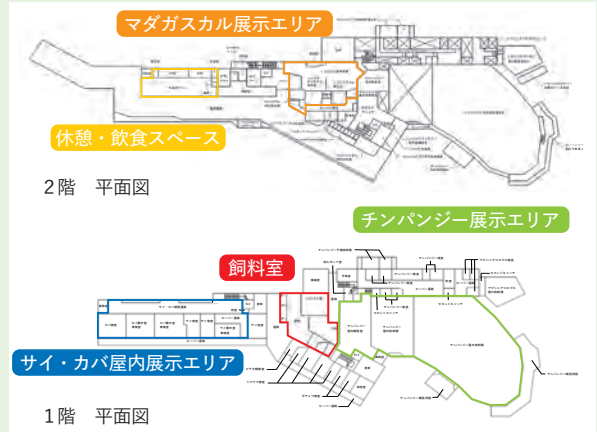


■総合獣舎

サイ、カバ、チンパンジー、マダガスカル地域の動物種などの展示を行うエリア1の主要施設。
屋外展示に加え、天候に左右されずに観察できる屋内展示や来園者の休憩、飲食スペースを充実させる
ほか、動物たちのえさを準備する飼料室も備えた施設となります。 (令和10年度供用開始予定)

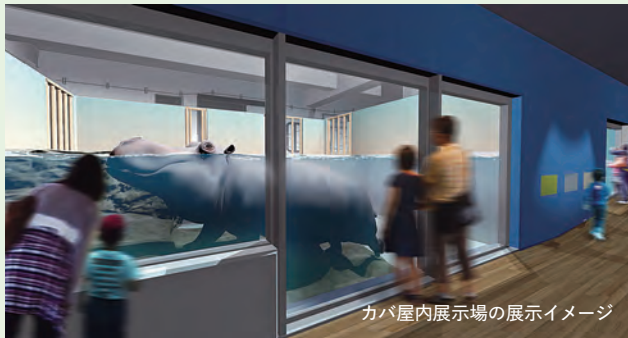


総合獣舎外観イメージ



◆サイ・カバ

絶滅危惧種の大型草食動物サイ、カバの迫力ある動きや生態を屋内で間近(ガラス越し)に観察できる展示



カバ屋内展示場の展示イメージ

◆マダガスカル地域の動物種

マダガスカルの特徴ある植生と一緒に、現地にのみ生息する固有種(キツネザル、リクガメ)を、そこに暮らす人々の生活風景などと合わせ、ストーリー性のある展示の中で学習しながら観察できる展示



マダガスカル地域の展示イメージ

◆チンパンジー

チンパンジーの生息地である「アフリカの森」をコンセプトに、生息環境を模した環境生態展示を取り入れ、屋内・屋外の大空間の中でチンパンジーの身体能力の高さやコミュニケーションを介した群れでの社会性などを観察できる展示



観覧洞窟(屋外放飼場)の展示イメージ



屋内展示場の展示イメージ

■裏飼施設(非展示施設)



裏飼施設(外観)

展示前の動物の検疫等や獣舎の工事期間中に一時的な飼育場所として活用する施設。
現在、は虫類館で飼育していたヘビやカメ等を飼育しています。
(令和6年10月完成)

■ライオン舎



ライオン舎整備イメージ

ライオンの生息地であるアフリカ・サバンナを演出するため、既存アフリカ園で飼育している草食動物と同じ空間で生息しているような展示環境とし、その中でライオン本来の生態である群れや社会性を観察できる施設。
(令和11年度供用開始予定)

総合獣舎新築等工事の進捗状況

空から見た工事の様子



令和7年6月
仮サイ舎改修中



令和7年7月
仮サイ舎完成、サイ引越し



令和7年8月
ひよこの家解体、仮カバ舎改修中



令和7年9月
ガン生態園解体



令和7年10月
旧ゴリラ舎、は虫類館解体中



令和7年12月
仮カバ舎完成、カバ引越し



令和7年8月
ひよこの家 解体中



令和7年10月
サイ放飼通路 壁
コンクリート打設

ポンプ車が近寄れないため、
建物を越えてコンクリートを
打設しました。

完成した通路の壁 →



旧ゴリラ舎・は虫類館 解体中



令和7年8月



令和6年10月16日
さよなら爬虫類館特別イベント第2弾
「おえかき爬虫類館」開催



令和7年11月



令和7年12月

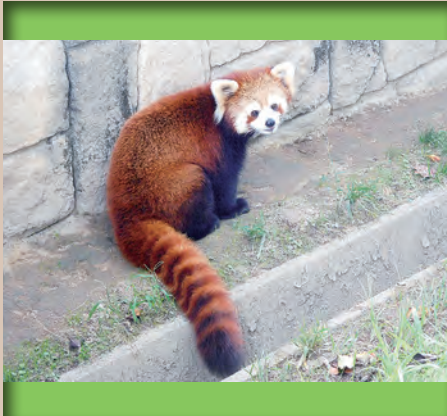
最新の工事進捗状況は
→
当園ホームページ内
「当園の再整備情報」を
ご覧ください

総合獣舎新築等工事の進捗状況

令和7年5月から始まった「総合獣舎新築等工事」の進捗状況をお知らせします

※このエリアは「総合獣舎」として
サイ、カバ、ペンギン、マダガスカル地域の動物種等の展示を行うほか、来園者の休憩、飲食スペースなどを備えた「エリア1」における主要施設です。
今後、工事の状況を定期的にお知らせしていきます

TOPICS! トピックス



恋鳴き

レッサー
パンダ

レッサーパンダは季節繁殖動物と呼ばれ、1年のうち限られた季節にのみ繁殖します。レッサーパンダの繁殖期は主に1月から3月で、その時期になると「キュルルル」という鳴き声を発するようになります。これは「恋鳴き」と呼ばれ、相手を探したり自分をアピールしたりするための求愛行動です。当園でも稀に聞けることがあるので、耳を澄ませて観察してみてください。



春を待つ小さなフクロウ

オオコノ
ハズク

オオコノハズクは寒さが苦手なため、秋から冬にかけて気温が下がってくると、巣箱から出ることが少なくなり、中でじっとしていることが多くなります。春から夏にかけて気温が上がり、暮らしやすい気温になると、少しずつ巣箱から体を出し始め姿を見ることができます。春に来園された際にはぜひ猛禽舎へ立ち寄り、オオコノハズクの小さくて可愛い姿をご覧ください。



成長はあっという間

ウサギ

こちらの写真は生後1週間のウサギの仔です。お母さんの名前は「あまなつ」で、誕生した2羽の仔の名前は、白い方が「ゆきみ」、グレーの方が「くろみ」に決まりました。暖くなる3月頃には「ふれあい体験」にデビューする予定です。ウサギの仔の成長はあっという間なので、「ゆきみ」と「くろみ」にぜひふれあいに来てください。



再会。

フタコブ
ラクダ

大きな体、白いふわふわの毛、つぶらな黒い瞳。フタコブラクダの「カリン(メス)」が昨年11月、再び当園にやってきました。2度目の来園のため、すっかり慣れたかと思いきや、運ばれてきた箱の中から中々出てこなかったマイペースな「カリン」。今年はおスの「ラッキー」との繁殖を目指し、仲を深めるペースをアップしてくれることを祈っています。



仮カバ舎のカバ

カバ

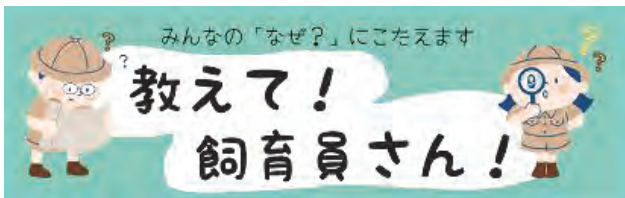
新しい獣舎が完成するまで、カバたちは仮住まいで過ごしています。プールの広さはほぼ同じですが、階段は以前より上りやすくなっています。建物はコンパクトなので、冬はプールにお湯をためると室温が上がり快適。食欲も旺盛で、プールから上がったところに置いてある餌を毎日もりもり食べています。無事に仮カバ舎に引っ越し、元気に過ごしてくれて、飼育員もほっとしています。



カメ号に乗って

ケヅメ
リクガメ

は虫類館が閉館となり、裏飼施設で暮らしているケヅメリクガメの「リク」。元気になっているのか心配されている方もいると思います。今年もイベントのどこかで登場する予定です。カメ号(リアカー)に乗せられ会場に移動する「リク」は、たくさんの来園者の前でも物怖じせず堂々と歩き、楽しませてくれることでしょう。いつ登場するかは、ホームページ等でお知らせしますのでお楽しみに！



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか? 「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。今回の質問はこちら。

ペンネーム：田口かなさんからの質問
ひつじの体はなんでもこもこしているんですか?

ご質問、ありがとうございます。

もこもこした毛が特徴的なヒツジ。今回は、ヒツジの毛のヒミツと餌について解説していきます。



ヒツジは世界中で飼育されており、品種は1000種以上だと言われています。ヒツジは毛を利用するために、毛が伸び続けるように品種改良され、なんと1頭のヒツジから3kg~5kg程の毛が採れます。ウサギなど換毛をする動物は、主に春と秋に毛が生え変わるため、

毛刈りを行う必要はありませんが、ヒツジは年に1、2回毛刈りを行う必要があります。

当園では、本格的な暑さになる前の5月頃にヒツジの毛刈りを行っています。特に夏は気温が上がり、毛がみっちり生えたままでは体温調節が難しくなって調子が悪くなってしまいかもかもしれません。また、ヒツジの毛には断熱効果もあるため、毛が短すぎても直射



日光を浴びて皮膚をやけどしてしまう可能性があります。毛刈りを行う時期を見極めることが大切です。

ヒツジの毛(羊毛)は、とても暖かいので主にセーターやマフラー等の衣料品、布団等の寝具などに利用されています。では、なぜヒツジの毛は暖かいのでしょうか。まず、ヒツジの毛はクリンプと呼ばれる縮れた繊維が集まっています。縮れた繊維の間に空気が含まれるため保温性に優れています。また、繊維の表面はうろこ状になっているため、水を弾くことができます。これらの特徴を活かして、暖かい衣料品などが作られているのです。

当園では、ヤギ、ヒツジとのふれあい体験を整理券方式で行っています。ぜひ、ふれあい体験に参加して近くでヒツジの毛を観察してみてください。



NEWS vol.54

表紙の解説

表紙は現在の展示場でくつろぐチンパンジーたち。右の図が令和10年度に完成予定の屋内展示場です。生息環境を模した環境生態展示を取り入れ、チンパンジーの身体能力の高さや社会性などを観察できる展示となる予定です。





イベント情報



【11月】

1日、8日、15日、22日、29日

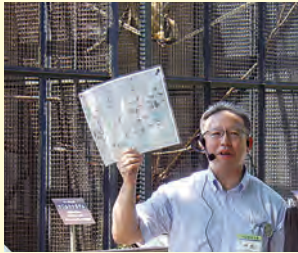
動物のおはなし

1日 みやぎ計量のひろば

2日 開園60周年記念イベント

「園長ガイドツアー」

3日 八木山フェスタ/マダガスカルデー



園長ガイドツアー



マダガスカルデー

【1月】

2日、3日 正月開園

11日、18日、25日 うらがわ探検隊

【2月】

1日、8日、15日 うらがわ探検隊

14日 開園60周年復刻イベント

「サル山で焚火をしよう」

22日 藤崎の福袋

【3月】

1日 藤崎の福袋

8日、15日、22日、29日 うらがわ探検隊

20日 春祭り

【12月】

1日～ 動物園デビュー応援キャンペーン

4日～ 巨大絵馬・大凧展示

6日 サポーターイベント

7日、14日、21日 うらがわ探検隊

当園の公式Xで
動物の情報を
発信中！



最新の情報は
当園公式HPを
ご覧ください



オフィシャルサポーターご紹介！

法人等の団体サポーター

10万円以上の現金を寄附していただくと「オフィシャルサポーター」になれます。

100万円以上寄附のオフィシャルサポーターになると、園内の動物説明板に団体の名称等を掲示することができます。

※動物説明板への団体名称掲示には応募要件がございます。

○団体サポーター一覧 ※令和8年1月末現在【敬称略】

有限会社六郷アズーリファーム(アミメキリン)

株式会社ホットハウス(ニホンザル)

株式会社ダイワ技術サービス(アフリカゾウ)

株式会社SPU(フラミンゴ)

レアマグネット合同会社(ライオン)

株式会社CHINTAI(スマトラトラ)

千馬未来システム株式会社(フンボルトペンギン)

株式会社アイックス(オオタカ、ニホンイヌワシ)

グローテック株式会社(レッサーパンダ)

ガチャの村 平ちゃん！(フタコブラクダ)

後藤電気管理事務所(ホッキョクグマ)

株式会社サニーガーデン(プレーリードッグ)

学校法人菅原学園(ニホンツキノワグマ)

株式会社Deta(ホンダタヌキ)

新東総業株式会社(カピバラ)

田中裕介税理士事務所(カバ)

株式会社柴田建設工業(クロサイ)

個人サポーター随時募集中！

個人の方は1000円から寄附していただくことができます。

5000円以上の寄附で「ゴールドサポーター認定証」が発行され、1年間無料で入園できます。

ぜひ、個人のみなさまもサポーターとなって当園の動物たちを応援してください！

サポーター制度の詳細や申込方法については、当園ホームページをご参照ください。



八木山動物公園
サポーター制度

園長だより

昨年11月には、当園のシンボルでもあったアフリカソウの「ベン」とのお別れがありました。飼育下のアフリカソウのオスは、その巨体のせい心臓や脚の病気にかかることが多く、メスほどの長生きは難しいようです。国内最大の約7トンの巨体を誇った「ベン」でしたが、穏やかな性格で健康管理にとっても協力的だったこともあり、日本のオスのアフリカソウの最高齢記録に手が届きそうなところまで来ていました。「ベン」の療養中は、全国からいただいた応援の声に励まされながら、アフリカソウ関係者からいただいた最新の知見や助言を踏まえて様々な治療に取り組みました。彼もこれによく応えて最後まで頑張ってくれましたが、新年を迎えることはかないませんでした。大変無念ではありますが、今回の経緯を国内のアフリカソウ飼育園で共有するなどして、「ベン」が八木山にいた証しを残していきたいと思えます。

「ベン」の存在の大きさと、双子のホッキョクグマ「うみ」「そら」が無事に誕生日を迎えられた喜びを感じながら迎えた新年の干支は、午(うま)です。動物園にいるウマというと、シマウマを思い浮かべるかもしれませんが、シマウマはウマよりもロバに近い動物ですので、当園としては、園の東側で暮らしている対州馬(たいしゅうば)を推したいと思えます。

対州馬は、8種しか現存していない在来馬の一つで、小柄で足腰が強く力持ちで、外国産の馬との交配が進む前の日本の馬の姿をよく残しています。名前のおり長崎県対馬市が原産ですが、保護活動が進んだ現在でも頭数が60頭に満たないとても貴重な動物です。当園には3頭おり、このうちの1頭は八木山で生まれ育ちました。園内ではあまり目立つ存在ではないかもしれませんが、これを機会に対州馬や日本の馬の歴史・現状に興味を持ってもらえれば、大変うれしく思います。

令和8年2月 八木山動物公園フジサキの杜 園長 門馬 正樹

仙台駅から乗車12分。「八木山動物公園フジサキの杜」へのお出かけは、便利でスムーズな地下鉄で！

八木山動物公園フジサキの杜(総合案内 022-229-0631) INFORMATION

食堂メニューと売店商品のご案内



★グーグーテラス

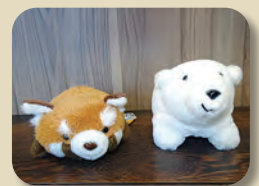
四種のチーズクワトロピザ(はちみつ付き).....¥1000
ぞうさんキッズカレー.....¥680
うさぎちゃんパフェ(ラズベリー).....¥650



東門売店

当園オリジナルデザインの記念写真機や記念メダル等で来園の思い出を形にしてみたいかがですか。

ぼちまるS
ヤンヤン/ポーラ...¥1320
当園の人気者レッサーパンダの「ヤンヤン」とホッキョクグマの「ポーラ」の手のひらサイズのぬいぐるみです♪



★さるやま売店

揚げたご焼き.....¥600
ソフトクリーム(バニラ・チョコ・ミックス).....各¥300
しろくまシェイク.....¥380



オリジナルソックス

.....¥650
八木山動物公園オリジナルデザインの靴下が登場♪
3サイズ展開です。

価格はすべて税込です。

八木山動物公園フジサキの杜 NEWS

編集/仙台市八木山動物公園

仙台市太白区八木山本町1丁目43 TEL022-229-0631 <https://www.city.sendai.jp/zoo/>

発行/(公財)仙台市公園緑地協会

仙台市宮城野区五輪1-3-35 TEL022-293-3583 <http://www.sendai-park.or.jp/web/>

発行日 令和8年2月

環境に配慮し、再生紙を使用しています。

vol.54 2026 SPRING

◎動物取扱業登録

- 氏名/仙台市長 郡 和子 ●事業所の名称/仙台市八木山動物公園
- 事業所の所在地/仙台市太白区八木山本町1-43
- 動物取扱業の種類/展示・販売・貸出
- 登録番号/展示 1107、販売 101052、貸出 101053
- 登録年月日/展示 平成19年3月12日、販売・貸出 平成29年3月17日
- 登録有効期間末日/展示 令和9年3月11日、販売・貸出 令和9年3月16日
- 動物取扱責任者/吉住 和規